

施策名	目標6-3 リスクコミュニケーションの推進						
施策の概要	リスクコミュニケーションに資する情報の整備、対話の推進及び場の提供を図ることを通じて、化学物質に関するリスクコミュニケーションを推進し、市民、産業、行政等のすべての利害関係者における化学物質の環境リスクに係る正確で分かりやすい情報の共有と信頼関係の構築に努める。						
達成すべき目標	化学物質の環境リスクに関する情報を市民、産業、行政等が共有し、相互理解を図る。						
施策の予算額・執行額等	区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求額	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	72	73	50	-	0
		補正予算(b)	0	0	0	-	
		繰り越し等(c)	0	0	0	-	
		合計(a+b+c)	72	73	50	-	0
執行額(百万円)	41	32	35				
施策に関係する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	施政方針演説等の名称	年月日		関係部分(抜粋)			
	-	-		-			

測定指標	1 化学物質ファクトシートの作成・更新数(累計)	基準値	実績値					目標値
		年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	22年度
		-	209	259	309	303	343	-
		年度ごとの目標値				354	343	
	2 化学物質と環境円卓会議開催回数	基準値	実績値					目標値
		年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	22年度
		-	3	1	2	2	1	2
		年度ごとの目標値		3	2	2	2	
	3 化学物質アドバイザーの派遣数	基準値	実績値					目標値
		年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	22年度
		-	39	32	36	33	35	-
		年度ごとの目標値						

施策に関する評価結果	目標の達成状況	<p>○前回の303物質に40物質を新たに追加または更新し、343物質をファクトシートに記載することで、化学物質のリスクに対する知識の向上を促した。</p> <p>○化学物質と環境円卓会議は、化学物質の環境リスクに関する情報の共有及び相互理解を促進する場として一定の成果を挙げた。</p>
	目標期間終了時点の総括	<p>○平成22年の環境省行政事業レビュー点検において廃止(事業を一旦廃止した上で、類似の事業と統合を図るべき)とされた化学物質環境安全社会推進費に係る施策については、廃止又は目標6-2の下へ統合することとした。具体的には以下のとおり。</p> <p>○「化学物質と環境円卓会議」については、化学物質の環境リスクに関する情報の共有及び相互理解を促進する場として一定の成果をあげたことから、平成22年8月をもって終了した。</p> <p>○「化学物質ファクトシート」及び「化学物質アドバイザー」については、ファクトシートへの物質の追加・更新や、アドバイザーの派遣等により、化学物質のリスクに対する国民の理解の増進に一定の成果をあげたものと考えている。平成23年度からは、「目標6-2 環境リスクの管理」のPRTR制度の関連事業と位置付け、PRTR関連の事業と統合的・一体的に実施することとした。</p>

学識経験を有する者の知見の活用	化学物質ファクトシート作成のため、市民、産業界及び学識経験者から構成されるファクトシート作成委員会を設置し、ファクトシート用原案の検討作業等を実施
-----------------	---

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	H22年度リスクコミュニケーション推進事業業務結果報告書
---------------------------	------------------------------

担当部局名	環境保健部 環境安全課	作成責任者名	早水 輝好	政策評価実施時期	平成23年 6月
-------	-------------	--------	-------	----------	-------------